

県内初記録!オオタカの繁殖

臼井勝之

この夏、本県初記録と思われるオオタカの繁殖を確認したので報告します。オオタカが繁殖したのは平塚市の西部丘陵地の一角で、3羽の雛が無事巣立ったと思われます。と書くと、「平塚市でオオタカが?」と驚かれる方がたくさんいらっしゃるかと思いますが、地元の私でさえそんなことがあるとは夢想だにしていなかったのですからむりからぬことです。なぜなら、当市は近年開発が急速に進み、とてもオオタカが繁殖できるような純度の高い自然が残されているとは言いがたいからです。実際、繁殖した場所は、当市ではまだ自然が残されている地域とはいえ、かなり人の手が加わった自然で、同種の繁殖地として有名な那須高原や狭山丘陵の自然環境の持つイメージとはだいぶ異なります。

●まさかこんな所に!発見のきっかけは鳴き声――

営巣地保護のためご案内できないのが残念ですが、実際、巣のある場所は「まさか」というような場所で驚かされます。付近一帯は雑木林が優占するものの、すぐそばに人家や畑、ゴルフ場があるなどかなり人臭く、しかも営巣した林は杉の植林地で面積は狭く、「本当にここで」というような所です。

発見のきっかけは、キョッキョッキョッキョッキョッというオオタカ特有のテンポの早い鋭い鳴き声と林の上を低く飛ぶ2羽のオオタカの姿でした。時は2月17日の午前6時頃です。



これは怪しいと思い巣を探し始めたわけですが、巣は意外に簡単に見つかりました。3月21日のことです。それは杉林の中、地上約20mの横枝の上、幹に接して造られていました。その時点では、まだ巣造りの最中のようで親鳥は一度巣の上にとまっただけですぐに飛び立ってしまいました。繁殖を確認したのは5月27日で、巣の中には2羽の白い雛がいましたが、その後の観察で3羽いることがわかりました。6月17日には、既に親と同じぐらいの大きさとなっており、2羽は巣の横枝にとまっていました。親から餌をもらう時の声は騒々しく、かなり離れたところでもよく聞こえ、野鳥に関心のある人ならすぐに気づくであろうと感じました。6月24日に訪れた時には、巣立ったようで、林内の上の方で、餌をもらう時の騒がしい声が聞こえました。

以上が観察のあらましですが、今回の繁殖には、注目すべき点がいくつかあると思います。一つは、このような場所でも一定の条件さえ整っていればオオタカが繁殖できるという事実です。その条件とは何か、それを知ることができれば、特殊鳥類である同種の保護に役立つと考えられます。もう一つは、県内の他地域(特に平地)での繁殖の可能性です。このような場所で繁殖したのですから当然、他の地域での繁殖も考えられます。現に鎌倉市の山崎では夏も同種がいると聞きました。今回の発見が繁殖発見の弾みになればと考えます。第三点は、開発が進んだとはいえ、平塚市にはオオタカが繁殖できるような自然がまだ残されているということで、その保護が求められます。実際、同地域には既に開発の計画があり、市に対しその見直しを迫る必要があることを付け加えておきます。